

日	時間	内容	場所
第1日 6月4日(土)	9:30-10:10	開講式	名古屋商工会議所 5階 A・B・C会議室
	10:20-11:30	連絡、プログラムコーディネーター説明	
	11:30-12:10	Web講義の紹介	
	12:10-13:00	昼食	
	13:00-14:00	基礎講座 愛知の環境	
	14:05-16:05	基礎講座 ファシリテーション 相模女子大学 九里 教授	
	16:10-18:30	オリエンテーション、自己紹介、ワールドカフェ	
	19:00-21:00	入塾懇親会	
第2日 6月18日(土)	10:00-12:40	講義Ⅰ 生物多様性のしくみ 名古屋工業大学 増田 教授	名古屋商工会議所 3階 第5会議室
	12:40-13:40	昼食	
	13:40-15:15	講師との懇談	
	15:30-17:30	ワールドカフェ、チーム分け	
第3日 7月2日(土)	10:00-12:40	講義Ⅱ 水と気候変動 東京大学 沖 教授	名古屋商工会議所 3階 第5会議室
	12:40-13:40	昼食	
	13:40-15:15	講師との懇談	
	15:30-18:30	チームディスカッション	
第4日 7月16日(土)	10:00-12:40	講義Ⅲ 資源循環と社会 中部大学 細田 教授	名古屋商工会議所 3階 第5会議室
	12:40-13:40	昼食	
	13:40-15:15	講師との懇談	
	15:30-18:30	チームディスカッション	
第5日 7月30日(土)	9:30-11:00	企業講演会① 脱炭素社会の実現に向けて ㈱ウエストボックス 鈴木 代表取締役	名古屋商工会議所 5階 A・B・C会議室
	11:10-12:40	企業講演会② 世界で注目を集めるESGとSDGs ㈱野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター 江夏 研究センター長	
	12:40-13:40	昼食	
	13:40-14:40	卒業生活動紹介	
	14:40-15:40	卒業生との懇談会	
	15:50-17:20	演習 CO ₂ の見える化手法	
17:30-18:30	チームディスカッション		
第6日 8月20日(土)	10:00-12:40	講義Ⅳ 日本のエネルギー戦略とカーボンニュートラル 東京工業大学 柏木 特命教授	名古屋商工会議所 3階 第5会議室
	12:40-13:40	昼食	
	13:40-15:15	講師との懇談	
	15:30-18:30	チームディスカッション	

日	時間	内容	場所
第7日 9月3日(土)	9:30-11:00	企業講演会③ 環境にみるメニコンの経営理念 ㈱メニコン 田中 代表執行役社長	名古屋商工会議所 3階 第5会議室
	11:10-12:40	企業講演会④ Afterコロナで企業はどうSDGsと向き合うか (一社)中部SDGs推進センター 戸成 代表理事	
	12:40-13:30	昼食	
	13:30-16:00	中間発表会	
	16:00-18:30	チームディスカッション	
	19:00-21:00	交流会	
第8日 9月17日(土)	10:00-12:40	講義Ⅴ 国際的な環境問題にどう対処するか 東京大学 高村 教授	名古屋商工会議所 3階 第5会議室
	12:40-13:40	昼食	
	13:40-15:15	講師との懇談	
	15:30-18:30	チームディスカッション	
第9日 10月1日(土)	10:00-12:40	講義Ⅵ コロナ禍の先の再生のためのSDGs 慶応義塾大学 蟹江 教授	名古屋商工会議所 3階 第5会議室
	12:40-13:40	昼食	
	13:40-15:15	講師との懇談	
	15:30-18:30	チームディスカッション	
第10日 10月15日(土)	10:00-12:40	講義Ⅶ 環境分野でオープンイノベーションを目指す 神戸大学 尾崎 教授	名古屋商工会議所 3階 第5会議室
	12:40-13:40	昼食	
	13:40-15:15	講師との懇談	
	15:30-18:30	チームディスカッション	
第11日 10月29日(土)	10:00-12:40	講義Ⅷ 自然の恵みはタダなのか? 京都大学 栗山 教授	名古屋商工会議所 3階 第5会議室
	12:40-13:40	昼食	
	13:40-15:15	講師との懇談	
	15:30-18:30	チームディスカッション	
第12日 11月12日(土)	10:00-12:40	講義Ⅸ 環境ってなんだろう?—メディアから ㈱中日新聞社 飯尾 論説委員	名古屋商工会議所 3階 第5会議室
	12:40-13:40	昼食	
	13:40-15:15	講師との懇談	
	15:30-18:30	チームディスカッション	
第13日 11月26日(土)	9:30-12:00	テーマのまとめ・発表準備・発表練習	名古屋商工会議所 3階 第5会議室
	12:00-13:00	昼食	
	13:00-13:30	AKJ活動紹介	
	13:30-17:30	発表会(基礎コース・中級コース・アドバンスコース)	
	17:40-18:10	修了式	
	18:30-20:00	交流会	

※日程、時間、会場については、変更する場合がございますので、予めご了承願います。

ファシリテーション



相模女子大学
大学院社会起業研究科 学芸学部 教授

九里 徳泰 氏

集団による合意形成のためのファシリテーション手法を用いたワークショップの進め方を学びます。ファシリテートとは「促進する」という意味で、話し合いの「場」をつくり、「参加者」の議論を活性化することを指します。このワークショップを通して、チームで知恵を出し合い、チームで協力して目標を達成する主体的で創造的な手法を身につけます。社会においては、「熟議」を通じた民主的な教育・学習、合意形成等のために使える手法です。学術的にはハーバードの批判理論、デュイの民主的社會での論議の思想がその背景にあり、政策科学では参加型政策分析(PPA)のプロセスとしても捉えられています。

水と気候変動



東京大学
大学院工学系研究科 教授

沖 大幹 氏

なぜ水資源は足りなくなるのか、仮想水貿易とは、水へのアクセスに関する国際合意はなぜ達成されたのか、気候変動で水需給や水災害はどう変化しどのように対応すればよいのか、持続可能な開発に関する2030アジェンダに掲げられた持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けてなぜどのように取り組めばよいのか、などに関し、基礎から先端的な研究成果までを紹介します。

日本のエネルギー戦略とカーボンニュートラル



東京工業大学 特命教授・名誉教授
科学技術創成研究院 先進エネルギー ソリューション研究センター長

柏木 孝夫 氏

パリ協定を受け、カーボンニュートラルを目指す我が国や米国の関連政策の最新状況を述べる。加えて、再生可能エネルギーに対する光と影、脱炭素型エネルギーシステムの実現に向けた動き、化石燃料の高度利用に対する最新の政策動向等について解説します。電力・ガス小売りの全面自由化に代表されるようなエネルギーシステム改革は、産業界の競争力強化に繋がると考えられます。21世紀の我が国の成長エンジンは、脱炭素エコノミーをいち早く実現することにあり、実現方策をともに考えます。

コロナ禍の先の再生のためのSDGs



慶應義塾大学
大学院政策・メディア研究科 教授

蟹江 憲史 氏

新型コロナウイルスの影響でこれまでの様々な取り組みや仕組みが壊れていきました。人のいのちを脅かすウィルスは憎いものですが、この経験を今後生かしていくことが、コロナに打ち勝つためにも必要です。コロナによって明らかになったのは、これまでの取り組みが持続可能ではないということです。そうだとすれば、これを機に、様々な取り組みを持続可能にすることで、本当の意味でコロナに打ち勝っていけると考えます。そのための道しるべとなるのがSDGsです。これまで培ってきた変革のシーズを生かしていくにはどうすればよいのか、解き明かしたいと思えます。

生物多様性のしくみ



名古屋工業大学
大学院工学研究科 教授

増田 理子 氏

生物多様性とは何か、どんな恩恵もたらされているのか、地球の歴史からその複雑さを理解していただきます。地球サミットからすでに30年が経過し、いまだに生物多様性の減少は食い止めることができません。SDGsの取り組みと生物多様性の関係について考え、未来の子供達へ地球環境を継承していくヒントを探ります。

資源循環と社会



中部大学 副学長
経営情報学部長 教授

細田 衛士 氏

今、新しい経済の在り方が模索されています。私益と公益が両立し、誰一人取り残されることのない持続可能な経済が強く求められているのです。資源の高度な循環利用はそのような新しい経済の重要な一要素と言えるでしょう。この地球上に今生きる人々だけでなく、将来命を授かる人々のことまで考えて資源を節約的・循環的に利用する必要があります。従来型の市場経済を超えた新しい経済社会システムのあり方を探ってみたいと思います。

国際的な環境問題にどう対処するか



東京大学
未来ビジョン研究センター 教授

高村 ゆかり 氏

地球温暖化をはじめとする国際的な環境問題の解決を目指して、国際社会は、様々な努力を積み重ねています。国際条約が締結され、国際的な環境問題の解決に協力するための枠組みが生まれ、各国の環境法や環境政策に少なからぬ影響を与えています。国際社会がこうした国際的な環境問題にいかに対処してきたか、どうしたらより効果的に対処できるか、日本の環境法や環境政策にどのような影響を与えているかを皆さんとともに考えます。

環境分野でオープンイノベーションを目指す



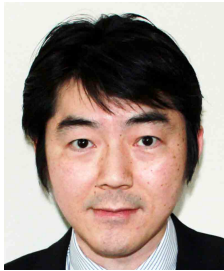
神戸大学
大学院科学技術 イノベーション研究科 教授

尾崎 弘之 氏

環境省の調査によると、国内環境産業の市場規模は、105.3兆円に上り、278万人もの雇用を生んでいます(いずれも2018年)。2000年以来、年率3.3%のCAGRを維持しており、成熟した日本経済において高成長分野と言えます。グローバル市場においても、環境・エネルギーを中心とした環境ビジネスはITやバイオと並ぶ成長市場と位置づけられています。環境分野に限らず新規事業を作るには、イノベーションの仕組みを知る必要があります。講義において新しいアイデアを事業化するプロセスを学んでください。

● 講師陣

自然の恵みはタダなのか？



京都大学
大学院農学研究科 教授

栗山 浩一 氏

きれいな空気、水、美しい景観など、私たちは自然から様々な利益を得ています。しかし、自然の恵みの大半は価格が存在しないため、守っても利益が得られません。自然を守るには、自然の恵みがタダではないことを示すことが重要です。そこで、自然の恵みの価値を金銭単位で評価する手法として仮想評価法(CVM)が注目されています。自然の価値を評価する方法を紹介するとともに、自然の価値と保全のあり方について考えます。

環境ってなんだろう？—メディアから



㈱中日新聞社
論説委員

飯尾 歩 氏

生物多様性条約第十回締約国会議(COP10)が名古屋で開催されてから、今年で12年。最大の成果と言われた名古屋議定書は、単なる自然保護ではなく、遺伝資源、すなわち、生き物の命の恵みを、私たち人間が、公平に、未永く享受するためのルールです。人間の持続可能性を保つ知恵。そこには、日常の暮らしの知恵も含まれます。今、SDGsがブームです。先日、食品の量り売りを奨励する地方のスーパーを取材して感じたことですが、国連が言うからやるのではなく、豊かな暮らしを後世に伝えるためのささやかな暮らしの知恵も、SDGsになるのだと。考えてみませんか。持続可能性って何だろう？

● 企業講演会講師陣



脱炭素社会の 実現に向けて

㈱ウェイストボックス
代表取締役

鈴木 修一郎 氏



世界で注目を集める ESGとSDGs

㈱野村資本市場研究所
野村サステナビリティ研究センター センター長

江夏 あかね 氏



環境にみる メニコンの経営理念

㈱メニコン
代表執行役社長

田中 英成 氏



Afterコロナで企業は どうSDGsと向き合うか

(一社)中部SDGs推進センター
代表理事

戸成 司朗 氏